

自己分析シートの書き方

研究活動にかかる自己分析シート

(研究背景)

卒業研究や修士の研究において、社会的な背景について記述します。どのような問題があり、それが、どのように社会に影響を及ぼしているのかを具体的に記述して下さい。

例)

- ・福島第一原発事故のような重大な事故において、事故状況の調査が困難であり、現状把握ができてない。
- ・高齢化社会において、医療費が高騰し、国家財政および医療現場に対して圧迫している。そのため、医療費削減の一つの方策として、予防医学が重要視されてきた。

(研究状況 (分野全体))

研究背景において、日本あるいは世界において、どのような研究や開発が進められているのかをまとめる。単にどのような研究が行われているかだけでなく、具体的にどのような主張をしているのかも整理しておくが良い。

例))

- ・高放射線下において確実に動作するロボットシステムの開発が進められている。これまでに、福島第一原発内での模擬実験等が行われたが、操作性や移動機能などにおいて問題が多く残されている。

(現状の課題)

研究の背景および研究状況 (分野全体) を踏まえて、現時点でどのような課題があるのかをまとめる。まとめる上で、自分の研究の意義を明確にするために、課題について技術的な解析をすると良い。

例)

- ・原発内のような人が近づけない環境でのロボットでは、遠隔操作または自律移動が求められる。しかし、作業環境の認識が困難である。一般的には、カメラでの映像の撮影となるが、画角の選択などに問題がある。

(研究の目的 (最終))

研究が最終的に目的としている事項についての説明をする。自身の研究で完結する場合は、自身の研究が目指すものが対象となるが、研究室としてのプロジェクトであったり、共同研究などでテーマが設定されている場合は、そのテーマについて説明する。

例)

- ・高放射線下環境における遠隔操作可能な移動ロボットの開発

(研究の目的 (現在))

研究の目的（最終）に対して、自身が分担している研究課題についてまとめる。自身の研究で完結を目的としているとして、現時点で課題として取り組んでいることについて、まとめる。

例)

・遠隔操作ロボットにおける操作性の向上をめざした遠隔画像取得方法について研究を行っている。現在は、カメラジンバルによる対象物の自動追従についての研究を行っている。

（研究の意義）

行っている研究が、社会的にどのように求められているのか、あるいは、目的を達成することで、社会にどのように貢献できるのかをまとめる。その際、客観性に注意してまとめること。絶対に、独りよがりの主張にならないように注意する。

研究活動にかかる自己分析シート

（活動の概要）

ボランティア、サークル、バイト等について、具体的にその内容をまとめる。

（活動の社会的価値）

ボランティアの場合は、必ず、まとめる。サークル、バイトなど、該当しない場合は、記載しなくても良い。

（具体的なエピソード（具体的な活動の紹介））

自分自身がどのようなことをしたのかを具体的に書くのと同時に、特に次項以降にかかわるようなエピソードがあれば、書いておく

（得られたこと）

その活動を通じて学んだこと、身につけたことなどをまとめる。

（これからの人生にどうつながるか）

その活動を通じて、得られたことが、自分にとってこれからどのように役立つのかをまとめる。特に企業に入った場合に、どのように仕事につながっていくのかをまとめる。